



# 一般質問

## 主な質問と答弁

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。12月定例会では19名の議員が一般質問を行いました。  
一般質問の全文は、2月上旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

### みんなのための市役所整備

ネット 井上 三華子



質問…新庁舎での災害時対応は立地面でどのように強化されるのか。  
まちづくり計画部長…全ての行政区域に隣接し、発災後の市民生活をしっかり支える本市の総合的な防災拠点を整備できる立地にある。  
質問…市役所所在地にはどのような防災機能が整備されるのか。  
同部長…津波避難ビルの役割を持たせるほか、現地災害対策本部として新庁舎との2拠点体制を構築することも検討している。  
質問…居場所や相談スペースなど子育ての機能の充実は大切であるが、新庁舎と市役所所在地ではどのような機能を整備する予定か。  
同部長…幅広い世代が安心して気軽に利用できる居場所や交流の場としての機能を充実させることにも重点を置き検討を進める。

その他の質問: 災害から身を守るための市役所移転、次世代につけ残さないまちづくり



### 本市が策定中のケアラー支援条例について

ネット 保坂 令子



質問…条例の中でケアラー支援推進計画については定めないのであるか。  
健康福祉部長…支援施策は地域福祉計画に追加で位置付け、総合的・計画的に実施し、取り組み同士の関係性も把握しやすくさせる。  
質問…福祉総務課がケアラー支援を主管することだが、別途市民の「気づき」に対応する窓口の明確化が必要ではないか。  
同部長…どこに相談すればよいかわからないことがないよう、ケアラーに係る相談の専門窓口の設置に向けて庁内で調整中である。  
質問…ヤングケアラーの定義を高校卒業時点で区切ってよいのか。  
同部長…若年であることに配慮した支援が18歳で途切れることがないよう、関係機関とのつながりの維持も含め、対応していく。

その他の質問: 2024年度の介護保険制度改定について、介護保険が直面する危機と保険者である自治体としての取り組みについて



### 鎌倉市の公衆トイレについて

自民党 森 功一



質問…現在市内で55店舗の民間事業者トイレ協力店としてトイレ貸し出しにご協力いただいているが、その負担軽減のために補助金などを活用することはできないか。  
市民防災部長…制度の在り方の見直しやその他の支援策についても検討を行う。  
質問…誰もが気軽に利便性良く、また、防災面にも配慮したトイレを整備してほしいと考えるがどうか。  
市長…トイレは必要不可欠な施設であり、設置場所の必要性や有効性に加え気軽に利用できるトイレ整備を目指す。

その他の質問:



### mRNAワクチンDNA混入問題について

無所属 長嶋 竜弘



質問…新型コロナワクチンへのDNA混入が確実な状況だがこの事実を市として把握しているのか。  
健康福祉部長…市として調べた限りでは、国の見解としてDNAが混入している事について言及している資料は確認できていない。  
質問…DNA混入、特にがんウイルスSV40プロモーター配列混入により、変異を誘導し、発がん遺伝子を活性化することがわかっているが、この事実を市として把握しているのか。  
同部長…市として調べた限りでは、国の見解として発がん遺伝子「SV40プロモーター配列」が入っているということについて言及している資料は確認できなかった。

その他の質問: やる気なし一向に改善しない交通道路問題有事対応について、IHR改定・パンデミック条約創設について



### 医療的ケア児支援・ケアラー支援条例について

無所属 竹田 ゆかり



質問…医療的ケア児支援法では「居住する地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられるようにすること…」としている。しかし鎌倉市には医療的ケア児コーディネーターの配置がない。今後の予定は。  
健康福祉部長…支援体制の整備をするために、医療的ケア児コーディネーターの配置について検討を進めている。  
質問…18歳を過ぎた若者ケアラーは大人としてのケアを求められ、一方で社会人としての責任を求められる。若者ケアラーの困難さについて、事業者の理解を深めるために条例に特筆すべきではないか。  
同部長…市では包括的に年齢の枠を超えた支援を行っていくという基本理念がある。条例制定後は若者ケアラーも意識して支援に当たる。

その他の質問: 校内フリースペース設置にあたって



### 人手不足、人口問題、ライドシェア

無所属 松中 健治



質問…人口問題は鎌倉市だけではなく、自分たちだけが良いという時代ではない、人口減少等を市長はどう考えるか。  
市長…移民政策や世界的な部分までは、市として計画はできていないが、今後、まずは人手不足に取りかかっているかなければいけない。  
総務部長…人口減少に伴う人手不足や国を挙げて進めている賃金引き上げ、働き方改革の流れで市発注委託等も人件費上昇傾向だ。人件費等の上昇には注視しながら、財政運営に努める。  
質問…ライドシェアについて、道路運送法78条の資料を提示し、鎌倉市内のタクシー、バス等の運転手不足に早く体制を作るべきだ。  
市長…今後の国、県等の状況を注視しながら取り組んでいく。

その他の質問: 観光トイレと海浜トイレのシャワー分離、観光対策、人件費高騰、資材高騰による建設費高騰

